

松山市立余土中学校（2年生）

令和2年12月3日（木）

えひめジョブチャレンジU-15事業



余土中学校2年生209人が、『職業を語る会』に参加しました。

地域周辺5か所の事業所の方に来校していただき、製造業やキャリアコンサルティング事業等の中から2講座を選択し、働くことの意義等についてお話を聞き、質疑応答を通して理解を深めました。

<生徒感想>

（海藻加工・販売業）

商品開発では、社員が言った何気ない一言やひらめきから、良い商品が生まれるという言葉が心に残りました。

（キャリアコンサルティング事業）

この講座では、たくさんの職種や会社を知り、日本の企業のほとんどが中小企業から成り立っていることが分かりました。また、将来に向けて今から始められることなど、自分の職業に対する考え方について深く考えることができました。

（家具製造業）

現在のものでづくりは、コンピュータと深くかかわっており、各製造の現場でも女性が多く働いていることを知って、ものづくりの仕事を身近なものに感じることができました。

（義肢・義足製造業）

義肢・義足や装具の製造では、患者さんの体に合わせて作ることの難しさとともに、患者さんとの信頼関係づくりが大切だということを学びました。また、義肢をつけている人を見て、かわいそうだと思うのではなく、個性やファッションの一部だと理解することが大切だという言葉に感動しました。

